

**\* 今年は気温変化が大きい。温度管理に十分注意!!**

～こまめな温度・水管理で健苗を作りましょう～

**\* 農薬は、ラベルを確認して正しく使いましょう!**

1か月予報(4月18日から5月17日までの天候見通し)

平成21年4月17日仙台管区气象台発表

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。向こう1か月の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は低い確率が50%です。

◎これまで高温傾向でしたが、4月終盤には気温がかなり低くなるおそれがあります。育苗の温度管理には、十分注意しましょう。

## 1 育苗

今年の播種の始期は、4月11日(平年より1日遅い)で、盛期は4月12日(平年より3日早い)となっています。

### 《マルチ除去》

毎年、マルチ除去が遅れて腰高の徒長苗になる例が見られます。ハウス育苗では、1.0葉前の時点でのマルチ除去を心がけ、温度管理を徹底し、健苗を作りましょう。

### 《温度管理》

★毎日の天候に対応するために、遮光・保温資材は適切に使用し、硬化期以降は、換気も行いながら、こまめな管理を行いましょ。

#### ＜育苗中の温度管理の目安＞

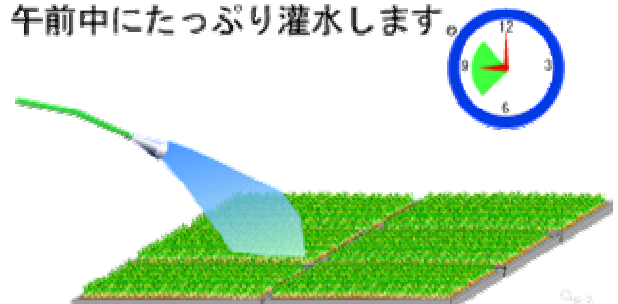
|          | 最適温度   | 最高温度 | 最低温度 |
|----------|--------|------|------|
| 1.0葉期頃まで | 20～25℃ | 30℃  | 10℃  |
| 1.5葉期以降  | 15～20℃ | 25℃  | 5℃   |

★日中の地温の最適温度は、27～32℃です。健康な苗は充実した根の確保が基本です。地温も必ず測るようにしましょう。

### 《水管理》

★灌水は、床土の水分状態を確認し、午前中の早いうちに行い、地温が上昇した午後からの灌水や、曇天で低温時の灌水は避けましょう。必要以上の灌水は、地温の上昇を妨げ、根張り不良の要因ともなりますので、適切な水管理を心がけましょう。

午前中にたっぷり灌水します。



## 2 耕起・施肥

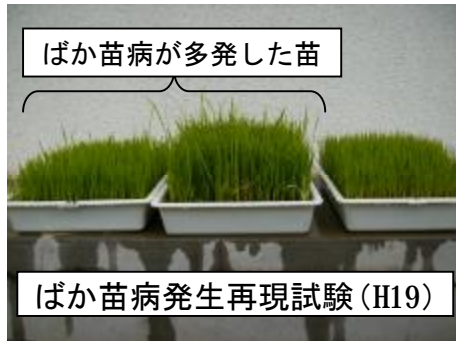
一斉耕起週間は、4月14日～20日です。

- ★近年、耕深が浅くなる傾向にあります。土壌からの養分や水分の保持量を高め、安定した生育量を得るため、耕深は15cmを目安にしましょう。
- ★乾土効果を利用し、過剰な施肥は避け、土壌の地力にあった施肥量とし、良食味・高品質米の生産に努めましょう。

## 3 田植え

一斉田植え週間は、5月11日～17日です。

- ★早植えは、出穂期が早まり登熟期間が高温となり、品質低下を招きます。特に、登熟期の高温で白粒の発生しやすい「ひとめぼれ」の早植えは避けましょう。



- ★ここ2～3年、田植え直後の強風により、葉の枯れ上がりや活着不良による初期生育の不良が続いています。悪天候が予測される場合は、田植えを延期し、回復を待ちましょう！

- ★ばか苗病の発生が多くなっています。ばか苗病の発生した苗の移植は、近接するほ場への影響も考えられます。安易に移植せず、当課又は指導機関に相談してください。

## 4 箱施用剤は正しく使いましょう！

- ★薬剤毎に「使用時期・使用量・使用方法」はそれぞれ違います。必ずラベルを確認し使用基準を守って使いましょう。
- ★箱施用剤はハウス内土壌への「農薬こぼれ」防止のため、育苗ハウス内では散布せず、ほ場で散布しましょう。

## 5 直播栽培について

- ★湛水直播における「はえぬき」播種適期は、4月25日～5月5日です。㎡当たり苗立ち数80～100本を目標に、播種様式に応じた適正播種量とし、発芽促進のため、落水出芽を守りましょう。

| 播種様式                | 散播  | 条播    | 点播    |
|---------------------|-----|-------|-------|
| 播種量(乾籾)の目安 (kg/10a) | 3～4 | 3.5～4 | 4～4.5 |

- ★鉄コーティング湛水直播では、表面播種となるように播種機を調整しましょう。

### ◎残留農薬のポジティブリスト制度 ～今年もしっかり取り組みましょう！～

今年も引き続き、農薬を使用する際は、使用基準を守り、農薬の飛散を防止するなど細心の注意を払いましょう。

### ◎「春の農作業安全運動」スタート！

トラクターの転落・転倒等重大事故が発生しやすい時期です。あせらず作業をすすめ、事故のないよう注意しましょう。



**春季農作業事故防止運動強化月間：4月10日～6月10日**